

感染症ニュース!

令和8年6月号

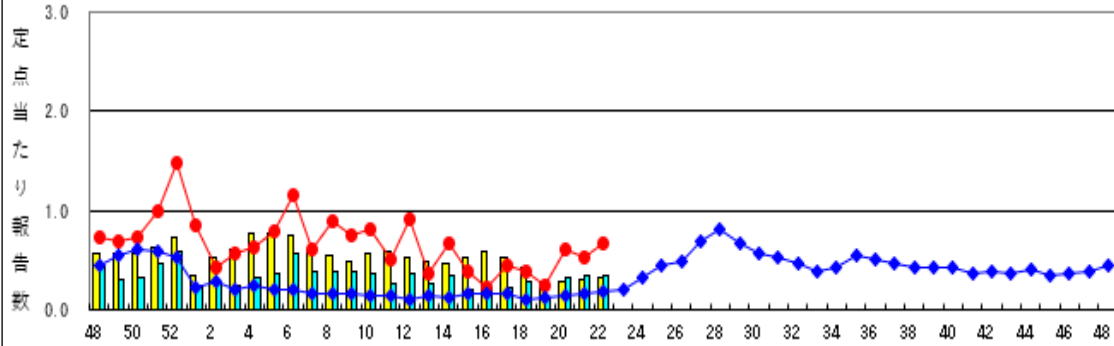
神奈川県および国内外で
気になる感染症を掲載しています。

★ 5月の注目感染症

* 県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。

① RSウイルス感染症

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均

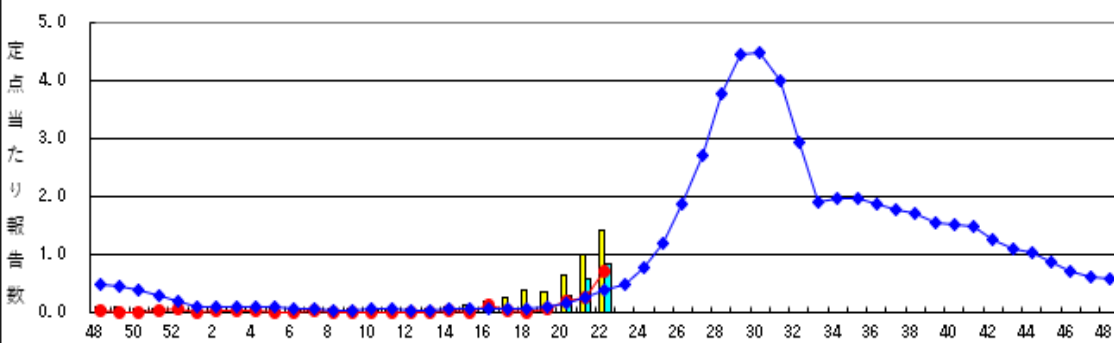


神奈川県では、**0-1歳**を中心に報告がありました。
第22週の定点当たり報告数は、
全国0.33(前週0.30)
全県0.34(前週0.35)
県域0.67(前週0.54)
でした。

週

② 手足口病

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均



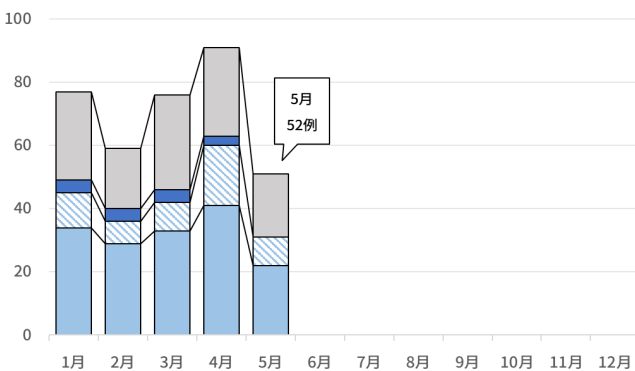
神奈川県では、**0-1歳**を中心に報告がありました。
第22週の定点当たり報告数は、
全国1.41(前週0.98)
全県0.83(前週0.57)
県域0.70(前週0.24)
でした。

週

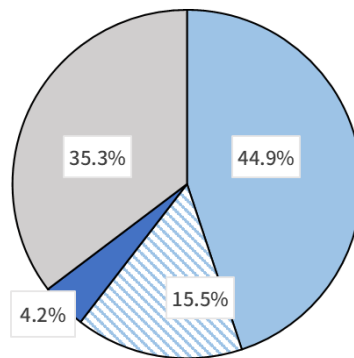
★ 結核の発生動向（6月1日時点）

■ 肺結核 □ 肺外結核 ■ 肺結核+肺外結核 □ 無症状病原体保有者

2026年の届出数



2026年の病型割合



5月の届出数は
52例でした。
2026年の累計患者数は
355例となりました。
(疑似症患者1例を含みます。)



衛生
博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・世界保健機関 (WHO) によると、ブンディブギョウイルスによる**エボラ出血熱**の症例は、コンゴ民主共和国で疑い例746例 (内死亡例176例)、コンゴ民主共和国及びウガンダで確定例85例 (内死亡例10例) が報告されている (5月21日現在)。また、WHOは両国におけるエボラ出血熱の発生が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) に該当する」と判断した (5月17日)。各国当局は、WHOと協力の上、医療物資の配送、監視体制の強化、感染予防・管理評価、治療センターの設置などを含む対応策を実施している。
(WHO 2026年5月28日アクセス)

・WHOによると、クルーズ船MVホンディウス号に関連した**ハンタウイルス感染症**の症例は計11例 (確定例8例、判定保留例1例、疑い例2例) が報告されており、内3名が死亡 (確定例2名、疑い例1名) している (5月13日現在)。確定例からはハンタウイルス科オルソハンタウイルス属に属するアンデスウイルスが検出されており、確定していない症例については、更なる検査が行われている。WHOは、今回の事象が世界人口に及ぼすリスクは低いと評価しており、今後も疫学的状況を監視し、必要に応じてリスク評価を更新していくとしている。
(WHO 2026年5月28日アクセス)

衛生
ちゃん



神奈川県衛生研究所 感染症情報センターが作成しました。
お問い合わせはこちらまで↓↓
TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報
センターHP